

## 『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



# 長野中だより

### 学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒  
誠実で思いやりのある生徒  
心身ともにたくましい生徒

平成29年12月1日発行 第8号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240  
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

## “自分ならできると信じれば、もう半分は終わったようなものだ”

(アメリカ合衆国第26代大統領 セオドア・ルーズベルト)

校長 漆原 亮

4月に実施された埼玉県学力学習状況調査では、学力向上のために(1)どんな学習方法や態度(学習方略)が効果的か(2)どんな性格的特徴(非認知能力)が望ましいか、についても調査が行われました。

学習方法や態度(学習方略)では、

- ① **柔軟的方略** [(例) 勉強で分からないところを重点的に学習する、等]
- ② **プランニング方略** [(例) 勉強を始める前に計画を立てる、等]
- ③ **作業方略** [(例) 勉強で大切なところは、くり返して書いたりして覚える、等]
- ④ **人的リソース方略** [(例) 友達に勉強のやり方や分からないところを聞く、等]
- ⑤ **認知的方略** [(例) 勉強した内容を自分の言葉で理解する、等]
- ⑥ **努力調整方略** [(例) 分からないところもあきらめずに継続して学習する、等]

について調査・分析が行われました。

その結果、「このやり方だと学力が低くなってしまう」と明らかになったのが、『④人的リソース方略』でした。確かに、「聞いちゃったほうが早い」と他の人をあてにしたりしますが、当座はそれで事足りても、身に付いていくものではなさそうです。

逆に、学力向上につながると認められたものが、『②プランニング方略』、『⑤認知的方略』、『⑥努力調整方略』ということがわかりました。

性格的特徴(非認知能力)では、

- ① **自制心** [・自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力  
(例) イライラしていても人に八つ当たりしない、等]
- ② **自己効力感** [・自分はそれが実行できるという期待や自信  
(例) 難しい問題でも自分ならできると考えられる、等]
- ③ **勤勉性** [・やるべきことをきちんとやることができる力  
(例) 宿題が出されたらきちんと終わらせる、等]
- ④ **やりぬく力** [・自分の目標に向かって粘り強く情熱をもって成し遂げられる力  
(例) 失敗を乗り越えられる、等]

について調査・分析が行われました。

この4つの「非認知能力」のいずれも学力と正の相関関係にある、つまり大いに関係しているということがわかりました。中でも特に、『**自己効力感**』が学力を向上させるポイントであることがわかりました。

この『**自己効力感**』は、「それは自分にできそうだ」、「自分はきっとできる」という確信の気持ちがそれにあたります。標題のルーズベルト大統領の“自分ならできると信じれば、半分は終わったようなものだ”の言葉に言い表されていることと同種のことです。

では、『**自己効力感**』を高めるにはどうしたらよいのでしょうか。『**自己効力感**』は性格的

特徴であり、性格ではありません。これまでの体験によって作りあげられたものです。ですから、自分自身で『**自己効力感**』を育てることができます。それには具体的に4つの方法が紹介されています。

- (1) 成功体験 … 何かをやり遂げた、成功した実体験。小さな成功体験を積むこと。  
○簡単にできることを決め、それを毎日コツコツやること。この毎日の積み重ねは、続けることで大きな自信になっていく。
- (2) 代理経験 … 自分が行おうとしている行動を他の人がうまく行っている場面を見たり、聞いたりすること。  
○お手本となる人の行動や動作を真似して、その人と同じ結果を手に入れていく。他人の成功経験のモデリング。
- (3) 言葉がけや励まし … 他の誰かに「できる」と励まされること。  
○信頼している人(両親、先生、コーチ、先輩等)からの働きかけ(「あなたならできるよ。」)に勇気づけられて良いエネルギーとなっていく。
- (4) 高揚感と想像 … 落ち込んだ気持ちや、できないという気持ちを切り替え、ストレスやネガティブな感情を減少させ、前向きになり、できるようになった状態を思い浮かべること。  
○モチベーションの上がる本を読んだりして気分を喚起させ、なりたい自分を想像すること。

以上のような方法で、課題に直面した時、それを乗り越え成果を上げることができるという『**自己効力感**』を高めていけるといえるのです。

ところで、「何かに失敗した」時、この『**自己効力感**』を失うおそれがあります。そこで、失敗した時の考え方・とらえ方に十分気をつけることが大切になります。この場合、「努力が足りなかった」、「やり方が悪かった」ととらえ、次のステップに行動を移せるようにすることが大事であり、けして、「たまたま悪かった」と自分以外に原因を向けたり、「能力がない」と無力感を覚えるような考え方をしては成果につながっていきません。

こうした埼玉県学力学習状況調査の調査・分析を踏まえて、『学力向上』のカギとなる**学習方略**や**非認知能力**を磨き、今後の前進につなげていってほしいと思います。

## 12月行事予定

## 12月4日～10日 人権週間です

1	金	1, 2年生2学期期末テスト 3年生認知症サポーター養成講座
5	火	A短
6	水	A短、小中連携あいさつ運動、 専門委員会
7	木	A短、小中連携あいさつ運動、 特別支援学級合同発表会
8	金	A短、生徒集会(引き継ぎ式) 3年生手話講座
11	月	⑤校時=月① 授業
12	火	A短、まきば園訪問
14	木	A短、2年生心肺蘇生講習 ⑤⑥ 校時
15	金	A短、1, 2年PTA
19	火	A短
20	水	給食終了、午前4時間
21	木	③大掃除、安全の日
22	金	2学期終業式
25	月	冬季休業日(~1/8)
28	木	仕事納め

世界人権宣言が採択された日である12月10日は「人権デー」です。そして、12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)が「人権週間」と定められています。



長野中には左のような記念碑があります。記された『敬愛』とは「尊敬し、親しみの心を持つこと。」という意味です。

長中生一人一人がこの『敬愛』の精神を持ち、お互いを尊重し親しく交流して学校生活を送ってほしいと思います。

「みんなで築こう 人権の世紀 ~考えよう  
相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心~」